

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校 学校番号 101

自己評価

学校教育目標	・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身につけ、社会に貢献できる児童生徒を育成する。	
評価する領域・分野	保健安全部「保健管理」「安全管理」	
現状及びアンケートの結果分析等	・保護者の評価で「学校は医療機関と常に連携を図って児童生徒の健康管理に気を配っている」の項目において「全くあてはまらない」との回答があった。担任や SNS 等を通して医療機関との連携が保護者にも伝わるよう情報発信したい。また、必要に応じて学校医の助言を求めつつ丁寧な対応を心掛けたい。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が安全や健康についての意識を高め、実践できる。 ・校内の衛生管理に努め、安全な生活環境の維持・改善ができる。 ・様々な災害に応じた避難方法を理解し行動できる。また、児童生徒が迅速に避難できるよう誘導指示を行うことができる。 	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健安全部中心に全職員と連携をとりながら全校体制で取り組む。 ・保健委員会の安全や衛生に関わる活動を明確にし、計画的に実施する。 	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 手洗い授業や歯科指導等の保健教育を行う。 (2) 衛生的な環境の維持や、健康的な生活に関する啓発を行う。 (3) 消防や外部講師と連携し、命を守る訓練や防災授業・研修を実施する。 	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 健康・安全な生活について理解を深め、実践することができたか。 (2) 環境衛生や健康的な生活について理解を深めることができたか。 (3) 状況に応じた身の守り方、避難経路等を理解できたか。 	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外部講師や補助教材を活用し、保健指導や保健授業を実施した。 (2) 事務職員と連携して校内の安全衛生管理に努めた。また、保健日よりや食育だよりを活用して健康的な生活について啓発を行った。 (3) 火災、地震、洪水（内水）を想定して命を守る訓練や授業を実施した。 	
評価の視点	評価	
①安全で衛生的な環境のもと、安心・安全な学習や生活ができたか。	Ⓐ B C D	
②様々な感染症の啓発活動や授業・予防対策等を通して、衛生的な生活ができたか。	A Ⓑ C D	
③命を守る訓練や防災授業を通して、状況に応じた命を守る行動を理解したか。	A Ⓑ C D	
成果・課題	総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○大きな怪我や病気、熱中症等に罹ることなく学校生活を送ることができた。 ○外部講師と連携して水害に関する授業を行い、水災害への理解が高まった。 ▲様々な状況を想定した命を守る訓練を実施したい。 ▲放送部や各担任等と連携し、児童生徒主体の健康啓発活動を行いたい。 	A Ⓑ C D	
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全、衛生について、児童生徒主体の啓発活動を実施する。 ・様々な事態を想定した命を守る訓練や体験活動を計画、実施する。 ・外部専門家や医療機関、保護者と連携して児童生徒の健康教育を行う。 	

意見・要望・評価等

- ・
- ・
- ・